

松田議員要望項目一覧

令和7年度6月補正分

要望項目	左に対する対応方針等
1 自転車文化醸成の更なる推進に向けた取組について 「鳥取うみなみロード」のナショナルサイクルルート指定に向けた走行環境については、順調に整備等が進んでいる状況である。 そして、本年5月に第二次鳥取県自転車活用推進アクションプログラムを策定し、自転車の活用の推進を図っているところであるが、県民の意識向上を図るには、道路標示や道路標識、交通ルールなども含め、さらなる自転車文化の醸成が必要である。 については、アクションプログラムにも掲げているように車などの一般ドライバー等に向けての運転免許更新時講習や交通安全講習など様々な機会を捉えて啓発活動に取り組んでいただきたい。	第二次鳥取県自転車活用推進アクションプログラムの策定に合わせ、プログラムの概要を記したパンフレットを作成し、広く県民に周知している。また、5月の自転車月間には、商業施設や街頭、サイクルイベント等において、ヘルメットの着用の周知等を行っている。 さらに運転免許更新時講習や交通安全講習の機会を活用し、自動車ドライバーに対して自転車が安全に車道を走行できるよう啓発することとしており、引き続き県民の意識向上を図っていく。
2 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について 本年3月に日本スポーツ協会が設置した「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」が大会の改革（案）について提言を取りまとめ、その具体化に向け数か月以内にタスクフォースを設置することとしたところであるが、結論が出る時期は未定である。 本県での大会開催まで8年を切った中、タスクフォースの議論を注視しながら、可能な限り大会開催に向けた準備を進めていくよう要望する。 また、2033年に鳥取県で開催予定の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会について、今年度に競技種目が決定され、会場の選定や必要な施設整備を検討する予定と伺っている。 施設整備にあたっては、大会開催に必要な整備が前提であるが、本県の今後の競技力向上、スポーツ振興にも関わることであるため、各競技団体からの要望も考慮し、必要な施設整備について検討を行っていただきたい。	令和7年3月、「今後のスポーツ大会の在り方を考える有識者会議」から日本スポーツ協会に今後の見直し等が提言され、現在14日間となっている大会期間の延長等により、同一施設で複数競技を実施することで効率的に運営することなどが示された。 今後、日本スポーツ協会において、全国知事会も加わるタスクフォースが設置され、具体的な検討が開始される予定であり、その動きを注視しつつ、開催地の決定や施設の改修等が着実に進められるよう準備してまいりたい。